

# 入野小学校 校長室だより

2014. 7. 18(金) No. 15 文責：芝

## 夏休み、どう過ごす？

以前、スーパーの中で見かけた光景です。

二～三歳の男の子が、赤ちゃんを抱いて前を歩くお母さんを、

「待ちよってよ！ 待ちよってよ！ 待ちよってよ！」

と呼びながら小走りに追いかけていきました。

もちろん、このシーンだけを切り取って子育て云々を言えるわけではないのですが、年上の子どもがさびしさを感じる場面の一つを見たような気がしました。

さびしさと言えば、下の子どもにしたってそうです。物心ついて見る面白そうなおもちゃなどは、たいていはお兄ちゃんやお姉ちゃんのもの。そんな面で満たされない思いをする場面もあるのではないのでしょうか。

私たち大人は「同じように接した」と思っている、子どもの立場から考えると物理的に埋めることのできない隙間があるのかもしれない。

子育ても教育も、子どもの内面の変化にかかわることですから難しいことがたくさんあります。本音を出し合い、時には愚痴もこぼし合って進めていきたいものです。

前振りの話が長くなってしまいましたが、学校は今日が終業式、明日からは夏休みに入ります。夏休み中にお家の方と会うと、

「子どもの世が大変。早よう夏休みが終わって欲しい。」

という話をよく聞きました。私も我が子が小学生のころを思い出すと分かる気がします。宿題が進みようか心配、昼ごはんをどうするかが気になる、寝るのが遅くて・起きるのが遅くて腹が立つ、などなど…。

皆さんはいかがでしょう。

明日からの長い夏休み、子どもたちが家庭で過ごす時間が長くなります。どうしてもご家庭の負担が増え、心配なことも大変だと感じることも多くなると思いますが、安全と健康を第一に過ごして欲しいと願っています。

## 入野小学校、Today！

子どもたちの様子から二つ。

低学年の男の子がジャングルジムで遊んでいます。『お気に入りの場所』にいるだけかと思っ



『どうするんだろう、上の人にボールをぶつけるような遊びなのかな？』

と、心配も半分で見えていたのですが、そうではありません。この後、遊び方を相談しているらしき様子が続き、結局チャイムが鳴ってしまいました。

遊ぶこと自体も大切ですが、こうして子ども同士がかかわり合うことも、成長には大切だと思いながら見ていたことでした。

-----  
5年生の社会科。畦地先生の、

「これがリマン海流。なんでリマンて付いたか分からんけど…。」

に対して、すかさず、

「ロマンがあるけん。」

と、子どもが反応。この『ロマン』のおかげで『リマン海流』の記憶が深くなりそうです。